

【第5章】 十大主星の陽転と陰転

・ 自分の宿命が稼働しているかどうかを分析する技法で、陽転しているときは、いわゆる気持ちがポジティブになっているかの確認です。陰転しているときの分析は、気持ちが落ち込みやすい状態になる前の自分を、自分で分析して、運の状態がどのような状態にあるかを判別できます。

■ 貫索星【+木星】 ■

【陽転作用】

・ 現象 集団の要、組織づくり。兄弟がいることで自分と相手を大切に思う心が生まれます。

・ 性格 自分の置かれた立場をしっかりと認識して行動します。自分の感覚で、内面は重々しくゆったり落ち着いた感覚です。じっくり考えて、慎重に行動します。

【陰転作用】

・ 現象 孤独、一人っ子、独立独歩、兄弟縁が薄い。

・ 性格 自分の殻に閉じこもり、頑固頑迷、心を開けなくなります。ライバルを意識しすぎて、敵をつくりやすいです。自分を見失って、気軽で軽快しい適当な感覚になります。それでいて欲深くなります。